

10.9 > 3.31
(fri) 10:00 (wed) 15:00
2026 > 2027

オンライン展覧会

主催 川崎市市民ミュージアム
料金 無料

和から洋へ
女性たちはどう
着替えたか

FROM KIMONO

TO WESTERN STYLE



川崎市



KAWASAKI
CITY
MUSEUM

川崎市 市民ミュージアム

IN ACTION

「the 3rd Area of C —3つめのミュージアム—」ご案内
展覧会「和から洋へ—女性たちはどう着替えたか—」は
パソコンやスマートフォンなどからオンライン上で楽しみいただけます。
<https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>



大量生産された洋服は、世界中で
日常着となっています。

様々な形、色、素材の服を自由に選ん
で身に着けることは生活の中で自然
に行われ、装うことは自分
らしさを表現する手段
の一つです。

しかし、この自由はいつ
の時代にも当たり前だっ
たわけではありません。

きものが日常着であった日本に
おいて、いま多くの人が着用してい
る洋服もかつては新しく、ときに
は好意的に見られないこともありま
した。

明治時代初期、文明開化を迎えた日
本では、まず男性が制服や仕事着と
して洋服を着用しますが、女性の
洋装化はなかなか進み
ません。

では、女性たちはいかにしてきも
のから洋服に着替えたのでしょ
うか。

その背景には社会の変化だけでなく
新しい生き方を模索した女性たちの
姿がありました。

本展では、川崎市市民ミュージアム
の収蔵品を中心に紹介し、日本女性
の装いの変遷をたどります。

本展を通じて、今日のあなたの装い
はどのような歴史の積み重ねの上に
あるのか、装いのルールを見
つめる機会になれば幸いです。

和洋へ



女性たちは どう着替えたか



表「見立多以尽 洋行がしたい」大蘇芳年画 明治11年

1「幻燈写心競 女史演説」楊洲周延画 明治23年

2「真観美人」渡邊忠久画 明治21年

3 防空頭巾をかぶった少女 戦時期

4 更生服(ハーフコート) 昭和23~24年頃

5 スリーピース 昭和30年代

6 もんべと上っ張り 昭和18~20年頃

7「増訂 裁縫新教科書 メートル法適用 上巻」大正15年3月20日
訂正四版発行 共立女子職業学校校友会裁縫研究部編

本展はこちらから
ご覧いただけます



【お問い合わせ】

川崎市市民ミュージアム

<https://www.kawasaki-museum.jp/>

Tel 044-712-2800

(土日祝・年末年始を除く8:30~17:15)

FAX 044-712-2804

Mail 25museum@city.kawasaki.jp